

## 「中谷小学校の奴踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

曾於市立中谷小学校

### 2 学年・人数

中谷小学校1年～6年の児童9名

財部中学校1年生（中谷小学校卒業生）5名 計14名

### 3 場所・日時

#### (1) 練習の場所・日時

中谷小学校体育館

「溝ノ口洞穴祭り」に向けて

毎年2月より披露当日まで週2回

「曾於市民祭」に向けて

8月から9月週1回, 10月週2回

#### (2) 発表の場所・日時

「溝ノ口洞穴祭り」

溝ノ口洞穴（昭和30年1月14日 県指定天然記念物）

毎年お釈迦様の誕生日（4月8日）に一番近い日曜日

「曾於市民祭」

曾於市栄楽公園・11月1日（日）13時

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

#### (1) 名称

奴踊り（曾於市指定無形民俗文化財）

#### (2) 由来

一般的には島津義久によって戦勝祝いの踊りとして始まったとか、兵士の士気を鼓舞するための踊りといわれているが、定かではない。また、いつ頃から踊られていたのかも定かではない。

かつては、地元の青壮年によって踊られていたが、現在は中谷小学校児童を中心に校区卒業生の中学校の生徒も参加し、郷土教育のひとつとして継承されている。

#### (3) 構成等

中谷小学校児童1年～6年生 9名

財部中学校1年生（中谷小学校卒業生） 5名 計14名

奴踊りと棒踊りを洞穴と洞穴前に鎮座する岩屋観音に奉納する伝統行事である。

### 5 保存会や地域との連携の具体

中谷地区奴踊り保存会を（子ども会育成会）、中谷小学校、中谷地区公民館の共催で実施している。

また、中谷小学校では、学校応援団の支援を受けながら、農業体験学習（そば種まき～手

鎌による収穫まで。収穫したそばでそば打ちを行う。)を行っている。その他、PTA活動として、学校での親子キャンプ、中谷校区夏祭りや豊作祭りでの出店、正月行事では鬼火たきの伝統行事を毎年行っている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

以前は中谷地区の青壮年によって踊られていたが、踊り手も少なくなり途絶えた期間もあった。しかし、青少年健全育成の郷土教育の一環として中谷小学校児童へと引き継がれ、現在に至っている。

近年は、児童数減少に伴う踊り手不足解消のため、中谷小学校卒業生の参加も促している。また、曾於市内外の大きな行事でも披露している。

## 7 取組の様子



溝ノ口洞穴前での奴踊り披露  
(溝ノ口洞穴 平成27年4月5日実施)



本番前の練習のようす  
(中谷小体育館 平成27年4月5日実施)

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

近年パワースポットとしても注目される、神秘的な雰囲気漂う洞穴で、はじめに奴踊りが三味線と太鼓の軽快なリズムに合わせて舞い踊る。その後、地域の青壮年による勇壮な棒踊りが披露される。

奴踊りを実際に踊った児童の感想は、「みんなの前で踊るのは緊張したけど、練習通りうまく踊れて良かった。来年はもっと練習して頑張りたい。」や「先輩方が引き継いできた奴踊りをこれからも自分たちが引き継いでいきたい。」といった感想が寄せられた。

最近では、中谷小学校で踊りを披露していた児童も青年となって地元に残り、今では棒踊りをする立場になっている。

毎年、奴踊りや棒踊りが奉納されると、訪れた地域の方々や観光客の皆様方から惜しみない拍手が送られている。